



なないろのかけはし

本市は、「幼保小の架け橋プログラム」
に取り組んでいます

「幼保小の架け橋プログラム」
架け橋期(5歳児から小学校1年生までの2年間)の教育の充実を図るため、幼保小の先生はもとより、
子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協同し、子供一人一人の多様性に配慮した上
で、全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指す取組です。

幼児教育と小学校教育の特徴 (幼児教育と小学校教育の学びはつながっている)

幼児教育 (幼稚園・認定こども園・保育所)		小学校教育	
経験を重視 「感じる」「気付く」「考える」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」等	教育の目標	目標への到達度を重視 「～できるようになる」 「分かるようになる」等	
遊びを通した総合的な指導	教育の方法等	各教科等の目標・内容に沿って選択された 教材による授業	
○幼稚園教育要領 ○幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ○保育所保育指針 5つの領域からなる「ねらい」と「内容」 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	要領指針等	◇小学校学習指導要領 各教科等における目標及び内容 (国語科・算数科・生活科・音楽科・図画工作科・ 体育科・特別の教科道徳・特別活動) * 小学校1年生・2年生の各教科等	
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能の基礎 ○ 思考力、判断力、表現力等の基礎 ○ 学びに向かう力、人間性等 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↑</div> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #f96;"> 「遊びを通した総合的な指導」 を行う中で、3つの柱を一体的に育む </div>	育みたい資質・能力 (3つの柱)	① 知識・技能 🏠 何を理解しているか・何ができるか ② 思考力・判断力・表現力等 🏠 理解していること・できることをどう使うか ③ 学びに向かう力、人間性等 🏠 どのように社会・世界とかわかり、よりよい人生を送るか	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <p>様々な違いがあるように見えますが、子供の学びは連続していて、一人一人の資質・能力を育んでいくことに変わりはありません。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 30%; background-color: #fff9c4;"> <p style="text-align: center;">幼児教育</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px;">学びの芽生えを培う</p> <p>10の姿を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する</p> </div> <div style="text-align: center; width: 30%;"> <p>学びをつなぐのは園・学校</p> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #c8e6c9; width: 100%;"> <p style="text-align: center; color: white;">幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (10の姿)</p> </div> </div> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; width: 30%; background-color: #bbdefb;"> <p style="text-align: center;">小学校教育</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 2px;">学びの芽生えを更に伸ばす</p> <p>10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施する</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">円滑な接続の手がかりとして活用し、保育士等と小学校の教師が子供の姿・成長を共有します</p>			

※参考資料：「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」

幼児教育が大切にしていること ～遊びを通した学びについて～



「遊びは幼児期にふさわしい学び」です。

人やもの（環境）との関わりを通して幼児は学んでいます。

幼児一人一人が自ら興味や関心をもって、遊びに夢中になる中で
試行錯誤しながら、様々な経験を重ねていくことを大切にしてい
ます。

この「遊びを通した学び」が、小学校以降の生活や学習の基盤と
なります。



「やってみたい」から始まる学びの芽 🍷 『どんぐりころころ』の遊びの例

小学校との交流会で遊んだ「どんぐりころころ」が楽しくて、自分たちも作って遊ぼうと挑戦した事例です。



・友達と思いついたことを出し
合って試しながらどんぐりが
ころがるコースを作っていきます。

・どんぐりがうまくころがるか、
何度も試してコースを改良し
ていきます。



・コースに使いたいと考えた
材料を保育者に相談して
素材置き場から選んで使
います。

・ゴールは、あたりと、
はずれを作り、難易
度を変えて工夫して
います。



・縁日のようにしたいという思いを
出し合い、お金や看板など必要な
ものを作ったり、店員役ははっぴを
着たりして開店に向けてイメージを
広げていきます。



・いよいよ開店。1週間ほど
時間をかけての本番です。
友達と遊んでいく中で楽し
みながら、やりとげたことを
喜ぶ機会にもなります。